



2022年10月11日

各 位

会 社 名 ローツェ株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤代 祥之
(コード：6323・東証プライム)
問合せ先 管 理 部 長 伊勢村 英一
(TEL：084-960-0001)

第2四半期連結累計期間の連結業績予想と実績値との差異、 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2022年4月11日に公表いたしました2023年2月期第2四半期連結累計期間(2022年3月1日～2022年8月31日)の連結業績予想と本日公表の実績値において差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において決議した、2022年4月11日に公表しました2023年2月期(2022年3月1日～2023年2月28日)の通期連結業績予想の修正について、併せてお知らせいたします。

記

1. 第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異

2023年2月期第2四半期連結業績予想値と実績値との差異(2022年3月1日～2022年8月31日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前 回 予 想 (A)	43,974	11,864	11,859	8,903	円 銭 515 19
実 績 値 (B)	45,753	10,932	16,901	12,366	715 61
増 減 額 (B-A)	1,778	△932	5,041	3,463	—
増 減 率 (%)	4.0	△7.9	42.5	38.9	—
(ご参考)前第2四半期実績 (2022年2月期第2四半期)	29,499	6,681	7,272	5,498	318 20

(業績予想と実績の差異理由)

連結売上高につきましては、受注予測に基づいた先行手配を行うことにより長納期部品にかかるリスクを最小限に抑えることができ、概ね予算どおり推移しました。

一方、損益面につきましては、為替の大幅な変動を受け、売上原価が増加したため、営業利益は前回予想を下回りましたが、為替差益の発生により、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益はいずれも前回予想を上回る結果となりました。

2. 通期連結業績予想の修正

2023年2月期通期連結業績予想の修正（2022年3月1日～2023年2月28日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
					円 銭
前回予想（A）	88,735	24,733	24,755	18,165	1,051 16
今回予想（B）	96,466	23,225	30,805	22,793	1,318 94
増減額（B－A）	7,730	△1,507	6,049	4,627	—
増減率（%）	8.7	△6.1	24.4	25.5	—
（ご参考）前期実績 （2022年2月期）	67,004	15,809	17,818	12,824	742 10

（修正の理由）

下半期につきましても為替の円安水準が継続すると想定しております。半導体関連装置において一定の受注を得ており、また為替の変動の影響もあって連結売上高は前回予想を上回る見込みです。利益につきましても、前回予想との間に乖離が生じる見通しとなったことから、通期連結業績予想の修正を行うことといたしました。

以 上